

令和 7 年 4 月 課長決裁

1 適用

- (1) この基準は、配水管、導水管、送水管の更新工事等の竣工図を作成するための基準である。

2 作図一般

- (1) 作図は、できる限り簡素化した製図技法を用い、明瞭かつ十分識別できる事を原則とする。
- (2) 構成図は、図面名、縮尺を記載する。
- (3) 方位は、北を図面の上方にすることを原則とし、方位を記載する。
- (4) 配管図、配管詳細図は、下記を参照とした配管材記号で記入する。
- ・設計マニュアル「配水管の表示方法例」
(配水用ポリエチレンパイプシステム協会)
 - ・便覧「第 14 版」配管記号
(日本ダクタイル鉄管協会)
- (5) 寸法の単位は、メートルを原則とする。

3 図面の大きさ

- (1) 図面のサイズは、原則 A1 版とし、図面サイズを記載する。

4 図面の構成

- (1) 各図面は、原則として、案内図・工事大要・平面図・配管図・配管詳細図・断面図（縦断図）・土工標準断面図・オフセット図・給水図・既設管撤去図・既設弁栓類撤去数量表・断面図等の順で構成する。また、枚数の制限は求めない。
- (2) 表題欄は、表 1 を共通様式とし、図面の右下隅輪郭線に接して記載する。
- (3) 完了統括表 管種・口径・弁栓類の数量を集計し、記載する。

表 1

竣 工 図		図面サイズ	A 1
工 事 名	R〇〇〇〇更新工事		
路 線 名	市道〇ー〇号線外〇路線		
工 事 箇 所	春日部市〇〇地内		
図 面 名	〇〇図、〇〇図、〇〇図		
縮 尺	〇／〇〇	図面番号	〇／〇〇
竣 工 年 月	西暦〇〇〇〇年 〇〇月		
施 工 業 者	〇〇建設株式会社		

5 案内図

- (1) 縮尺は、原則フリーとし、可能な範囲で目標物等を記載する。
- (2) 施工管路を太線、円または楕円で囲み、「工事箇所」と記載する。
- (3) 工事路線が複数ある場合は、太線、円または楕円ごとに平面図が記載されている図面番号を明記する。

6 平面図

- (1) 平面図の縮尺は原則 1/500 を基本とする。
- (2) 道路については、路線名を記載する。
- (3) 施工管路については、地形、弁類及び地下埋設物は、記号等を用い、記載する。
- (4) 家屋名を記載し、住所等については起点・終点その他必要に応じて記載する。
- (5) 新設管路については、太い実線、既設管路は破線、撤去管は細い実線に斜線で記載する。
また、新設管路、既設管路（新設管との接続部）とも管種、口径、土被り、オフセットを記載する。
- (6) 布設延長の数量については、口径、管種別に記載し、平面延長と配管延長を記載する。
- (7) 平面図は、配管図の上段に記載することを原則とする。
- (8) 水管橋・橋梁添架で河川・水路を横断する場合は、流水方向を図示する。

7 配管図及び配管詳細図

- (1) 縮尺はフリーとする。
- (2) 施工管路は実線にてすべて記載し、記載位置は平面図の下段を原則とする。また、平面図に合わせ記載する。
- (3) 異形管、切管、仕切弁（ソフトシール弁、バタフライ弁）消火栓、空気弁、その他についても配管材記号等を用いすべて記載し、寸法、数量も合わせて記載する。

また、接続する既設管は、破線にて記入し、管種、口径、土被りを記載する。なお、特殊配管材等にはメーカー名を記載する。
- (4) 直管が連続した場合は、数量（N=〇本）を記入し、直管が重複した場合は中間の継手記号を省略してもよい。
- (5) 異形管を使ってマンホールや電柱等を避ける場合は図面にその旨を記載する。
- (6) 埋設深度に変化がある場合や仮排水設備を設置する場合、また必要と思われる箇所には配管詳細図を作成する。
- (7) 図面で使用する管種の表示は、口径φ〇〇＋管種表示（例：φ100HPPE）を標準とする。
- (8) 配管図の寸法は、平面延長及び配管延長を記載し、工事延長及び各折れ点ごとに詳細寸法を記載する。また、接続部など既設構造物（仕切弁、排泥弁等）からの寸法を記載する。

表 2

管種名称	管種表示	管種名称	管種表示
GX 形 ダクタイル鋳鉄管	DIP-GX	塩化ビニル管	VP
NS 形 ダクタイル鋳鉄管	DIP-NS	鋼 管	SP
K 形 ダクタイル鋳鉄管	DIP-K	遠心力鉄筋 コンクリート管	HP
水道配水用 ポリエチレン管	HPPE	石綿セメント管	ACP
水道用 ステンレス鋼管	SUS	鋳 鉄 管	CIP
耐衝撃性 硬質塩化ビニル管	HIVP		

※：積水化学工業製のφ50HPPEを使用する場合、外径寸法が異なるため、必ず JW（配水用）、AW（給水用）を記載する。
例：φ50HPPE-JW、φ50HPPE-AW

8 断面図

- （１）縮尺は、原則 1/100 とする。
- （２）断面図の間隔、位置は試掘調査及び工事の施工写真を参考に作成する。
- （３）新設管の埋設位置、側溝及び家屋名等も記載する。
- （４）他の埋設管、埋設物については、可能な限り埋設位置を正確に記載する。
- （５）水管橋・橋梁添架で河川・水路を横断する場合は、HWL（ハイウォーターライン）を記載する。

9 土工標準断面図

- （１）縮尺は原則フリーとし、掘削、埋戻し、舗装復旧方法について図示する。

10 オフセット図

- （１）縮尺は、原則 1/100 とする。
- （２）オフセットをとる点は、弁栓類、分岐点、折れ点、工事起点、工事終点、その他必要とする箇所とし、引照点は原則 3 か所以上とする。
- （３）引照点となるものは、永久構造物（境界プレート、コンクリート杭、地先境界の角等）を原則とし、引照点の名称を記載する。
- （４）45° 以上の曲管が連続する場合は、1 か所以上記載する。
- （５）乙字管（GX）がある場合は、必ず記入する。なお、乙字管は部材内に変化点が 2 つあるため、配管の受口部に対しオフセット対象部が判別できるよう記載する。
- （６）閉栓、割 T 字管の栓止めがある場合は、必ず記載する。
- （７）回避した障害物名称を記載する。

11 給水図

- （１）縮尺は、原則 1/500 とする。
- （２）平面図を作成し、ナンバー、水栓番号、家屋名、取出し口径を記

載する。

- (3) 取出位置を太線で記入し、取出位置が分かるようにする。
- (4) 取出箇所のオフセット寸法（2点以上）を記入する。また、取出間の間隔を記載する。
- (5) 宅地内乙止めまで施工した場合は、宅地内乙止め止水栓まで施工した旨を記載し、施工箇所の状況（コンクリート、アスファルト、砂利敷等）を記載する。

1 2 既設管撤去図

- (1) 縮尺は、原則 1/500 とする。
- (2) 平面図を作成し、既設管（本管・給水管）の撤去範囲を記載する。既設管については、管種、口径、土被り、占用位置を記載する。また、管種については、継手の形状を記載する。
- (3) 残置管については、残置管と必ず記載し、断面図を作成する。
- (4) 閉栓箇所（配水管、給水管、仮設給水管取出部）、残置管の起点及び終点位置の各オフセット（3点以上）を作成する。また、堀上げ撤去管、残置管、弁栓類（排泥弁）、排泥管を分けて数量表を作成する。
- (5) 仮設材等を残置した場合は、必ず記載し、端部や折点の各オフセット（3点以上）を作成する。

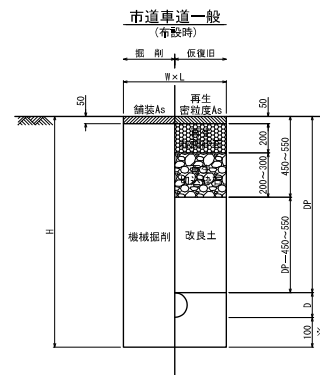
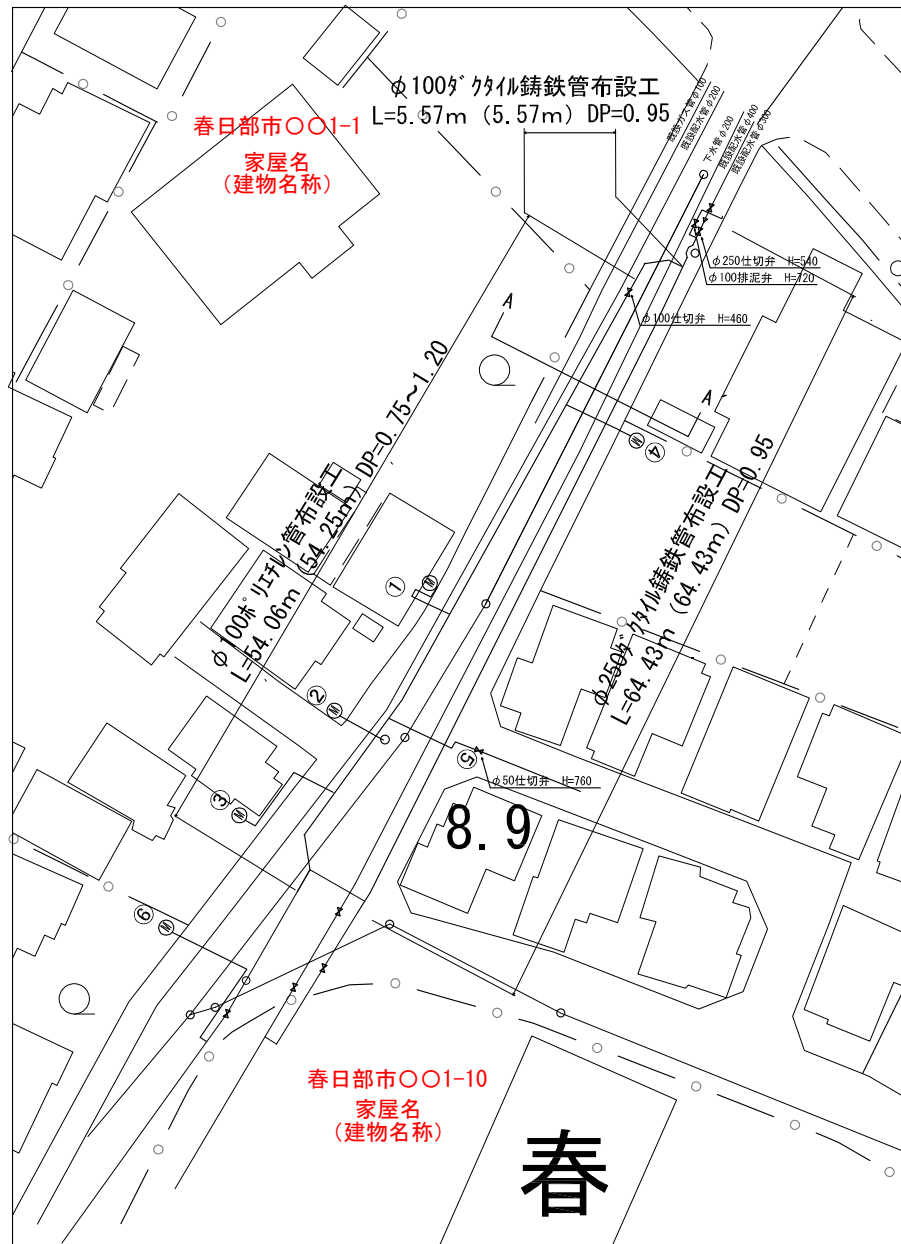
1 3 竣工図の納品について

- (1) 納品用電子媒体は、CD-R、DVD-R 等とする。
媒体表面には、①工事名、②工事場所、③施工業者名を記載する。
- (2) 保存する形式は、PDF、DWG、JWW 等とする。
- (3) 白黒、カラーは問わない。（1～12の項目が満たしている場合）
- (4) 紙（A3）の図面を1部提出する。
（ただし、既設管撤去図面のみ2部とする。）

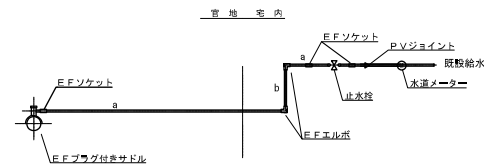
※参考竣工図面 1～5 参照

附則

この基準は、令和7年4月1日から施行する。



給水管接続標準図 S=FREE

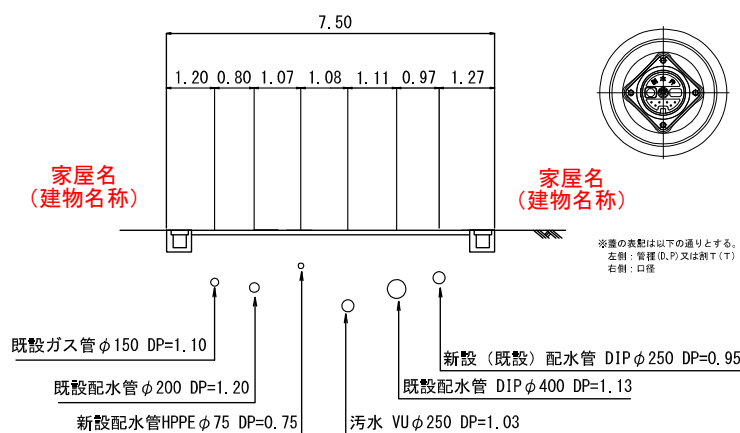


横断面図 S=FREE

ネジ式弁筐設置工図 S=FREE

A-A' 断面図

平面図

正面図
(PE φ100)

工事大要

φ250mm[※] ｸﾞﾗｲﾙ鑄鉄管布設工
φ100mm[※] ｸﾞﾗｲﾙ鑄鉄管布設工
φ100mm[※] リン管布設工
排泥弁設置
給水管接続工

L=64.4m (64.4m)
L=5.6m (5.6m)
L=54.1m (54.3m)
N=1箇所
N=6箇所

ポリエチレン管使用材料

区分	口径	メーカー	規格
配水管	φ75	株式会社 株式会社	JW
サドル	φ75×φ50	株式会社 株式会社	JW
	φ75×φ25	株式会社 株式会社	JW
給水管	φ50	株式会社 株式会社	JW
	φ25	株式会社 株式会社	AW

竣工図	図面サイズ	A1
工事名	R〇〇〇〇更新工事	
路線名	市道〇-〇号線外〇路線	
工事箇所	春日部市〇〇地内	
図面名	〇〇図、〇〇図、〇〇図	
縮尺	〇/〇〇	図面番号 〇/〇〇
竣工年月	西暦〇〇〇〇年 〇〇月	
施工業者	〇〇建設株式会社	

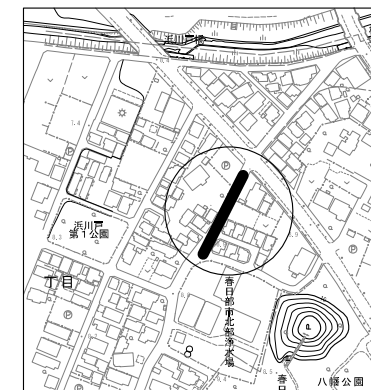
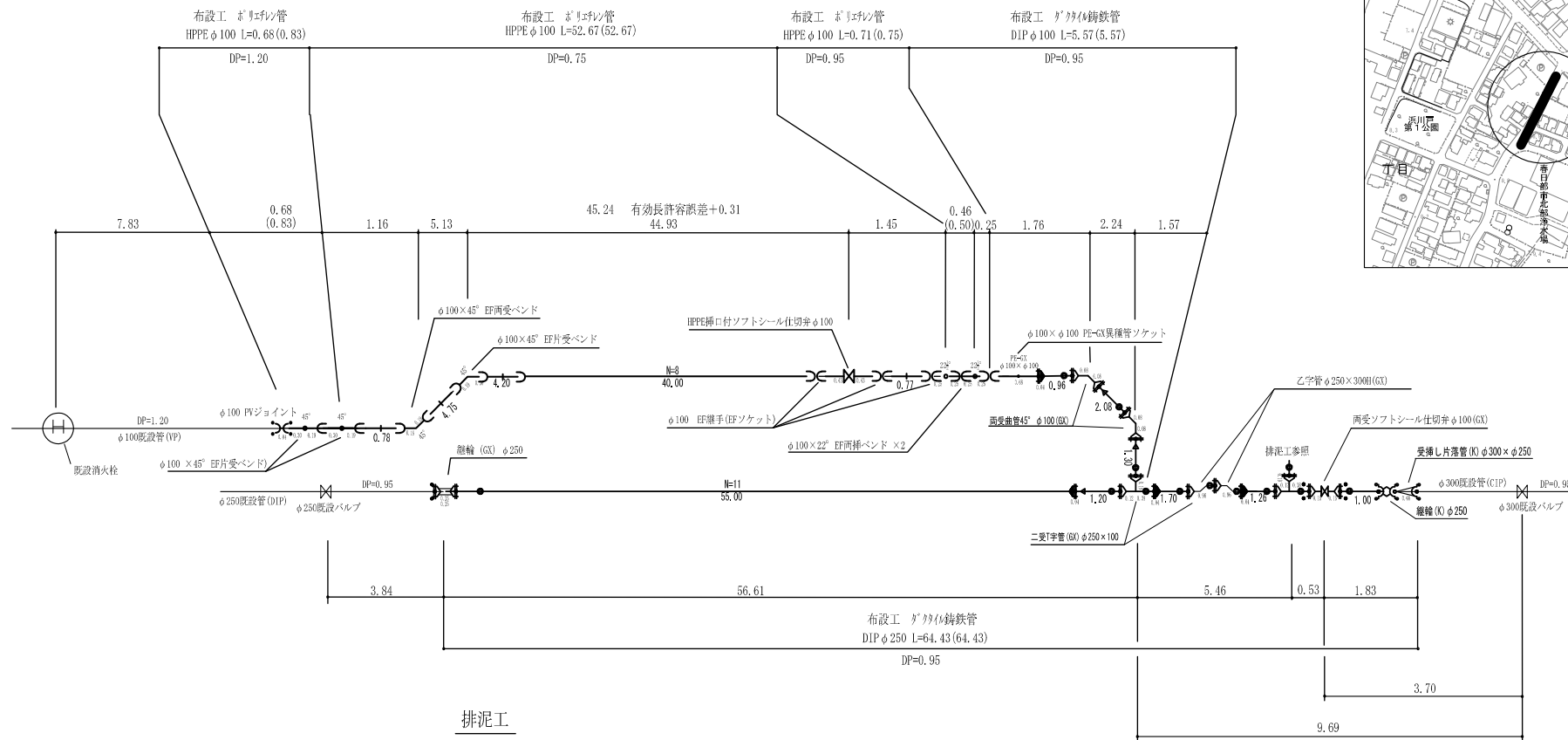
参考竣工図面

配管図

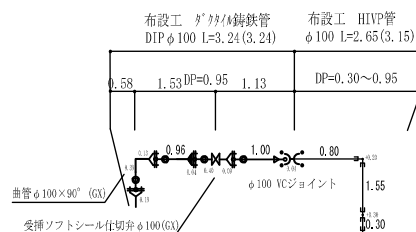
S=FREE

案内図

S=FREE

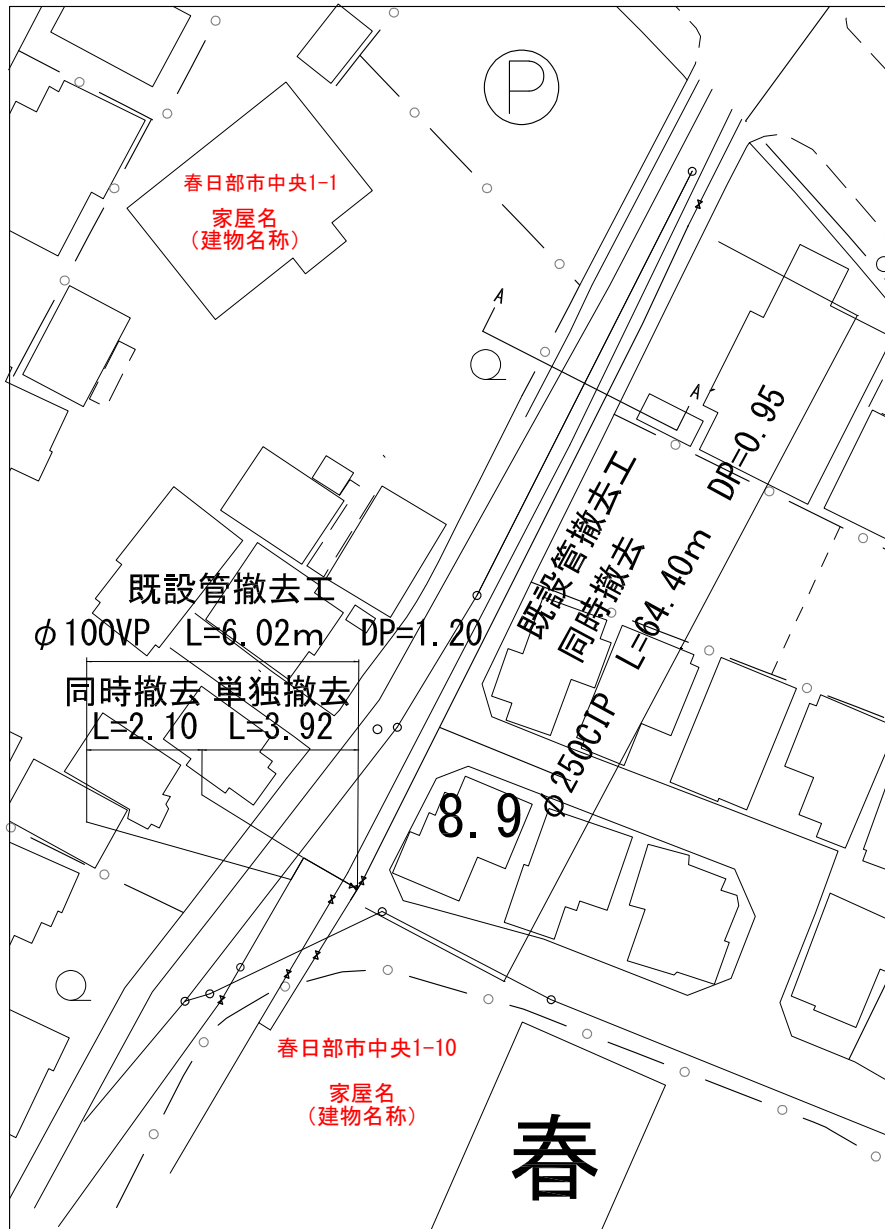


排泥工

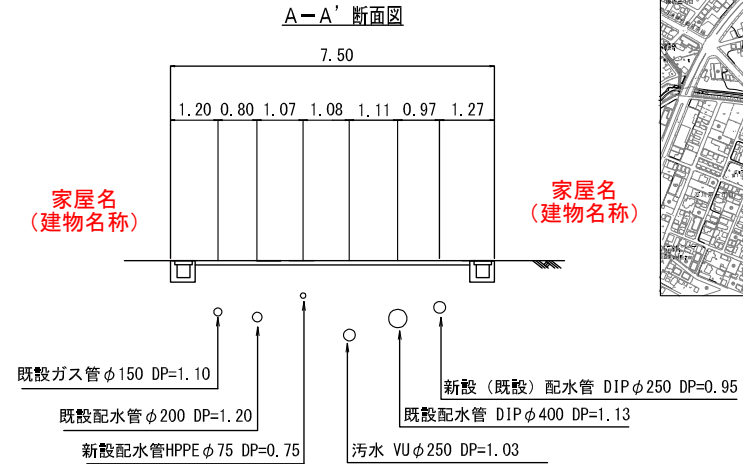


抜 工 図		図面サイズ	A 1
工 事 名	R〇〇〇〇更新工事		
路 線 名	市道〇ー〇号線外〇路線		
工 事 箇 所	春日部市〇〇地内		
図 面 名	〇〇図、〇〇図、〇〇図		
縮 尺	〇/〇〇	図面番号	〇/〇〇
竣 工 年 月	西暦〇〇〇〇年 〇〇月		
施 工 業 者	〇〇建設株式会社		

参考竣工図面

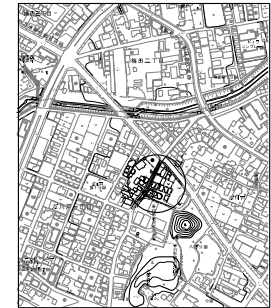


横断面図 S=FREE



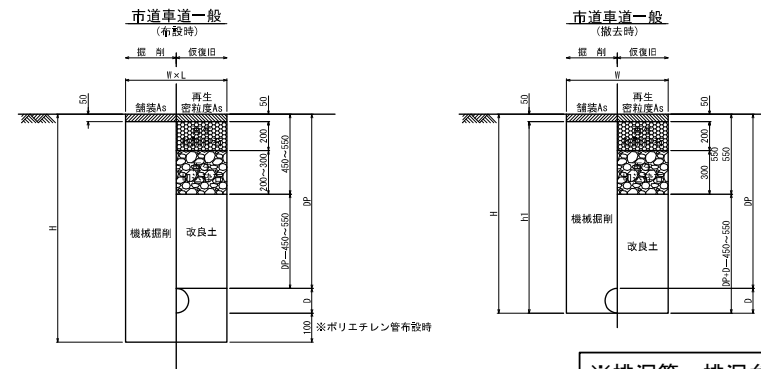
案 内 図

S=FREE



土工断面図

S=FREE



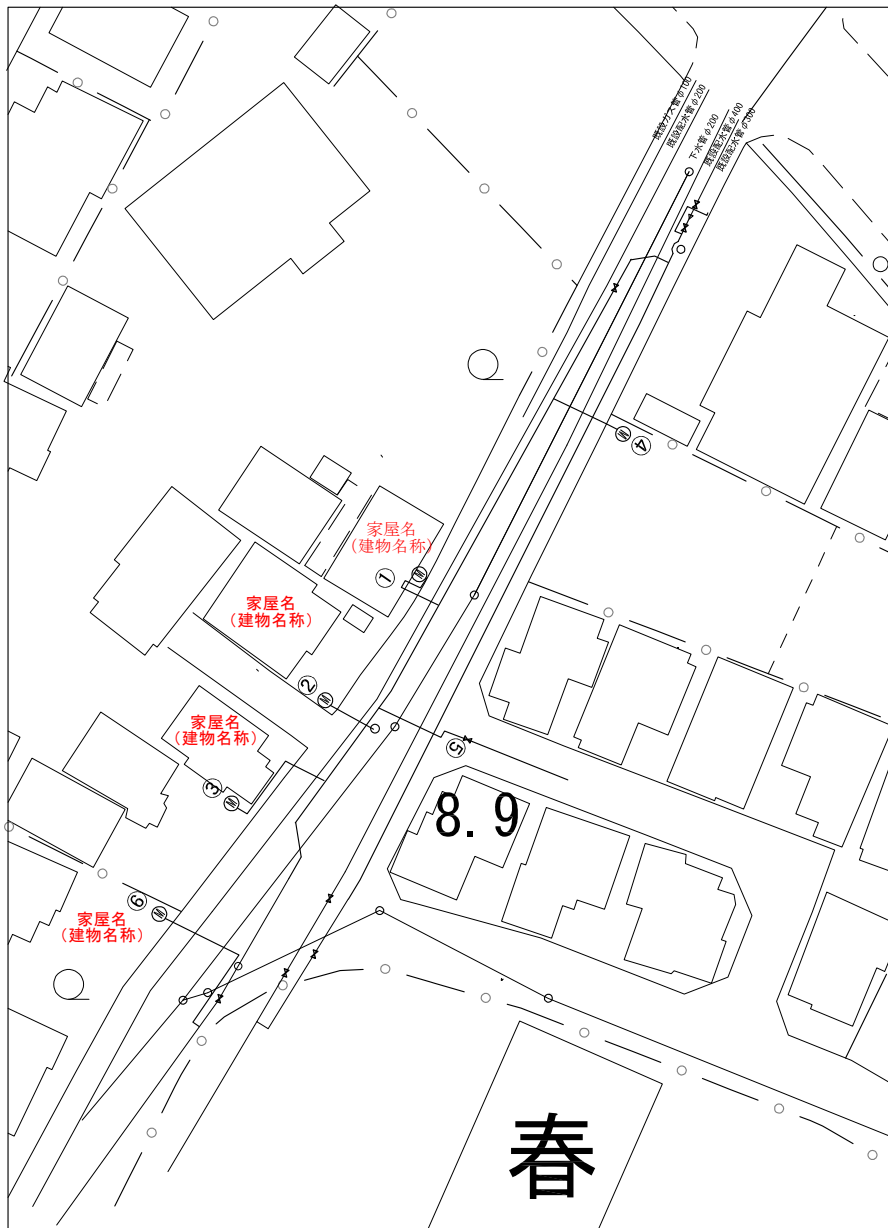
※排泥管、排泥弁の集計に注意
第一バルブと以降で、数量を分ける。

工事大要
φ250mm既設鉄管撤去工 L=64.4m
φ100mm既設塩化ビニル管撤去工 L=6.0m

竣工図	図面サイズ	A1
工 事 名	R○○○更新工事	
路 線 名	市道○-○号線外○路線	
工 事 箇 所	春日部市○○地内	
図 面 名	○○図、○○図、○○図	
縮 尺	○/○○	図面番号 ○/○○
竣 工 年 月	西暦○○○年 ○○月	
施 工 業 者	○○建設株式会社	

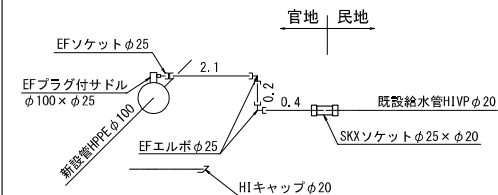
参考竣工図面

平面図 S=FREE

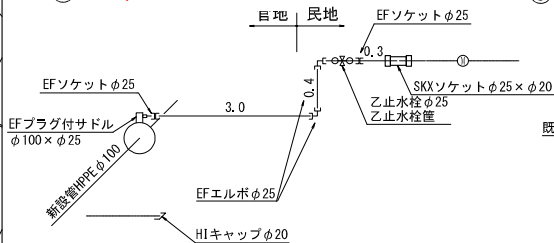


給水管接続詳細図 S=FREE

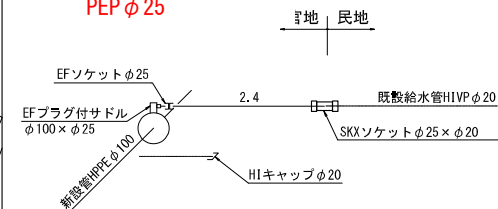
① 水栓番号111111
家屋名 (建物名称)
PEPφ25



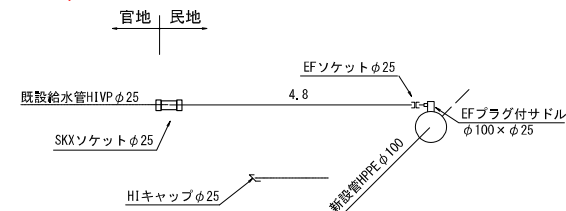
② 水栓番号111112
家屋名 (建物名称)
PEPφ25



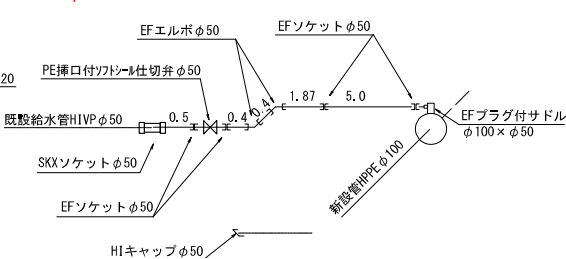
③ 水栓番号111113
家屋名 (建物名称)
PEPφ25



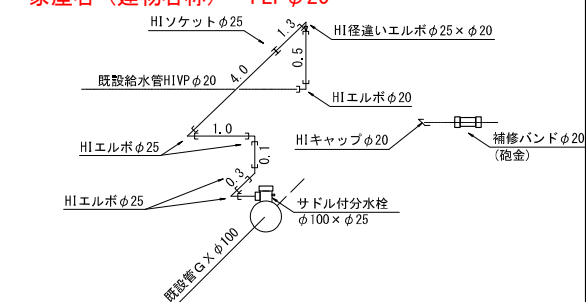
④ 水栓番号111114
家屋名 (建物名称)
PEPφ25



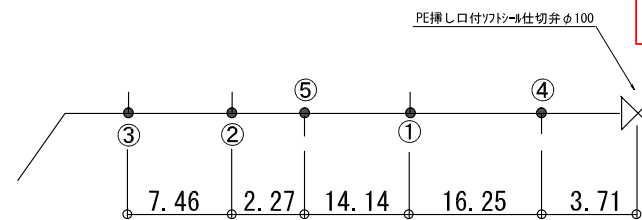
⑤ 水栓番号111115
家屋名 (建物名称)
PEPφ50



⑥ 水栓番号111116
家屋名 (建物名称)
PEPφ25



給水分岐位置図 S=FREE



※乙止めまで施工した場合は
宅地内乙止めまで施工と記載し、
施工箇所の状況 (CO, AS, 土) を
記載する。

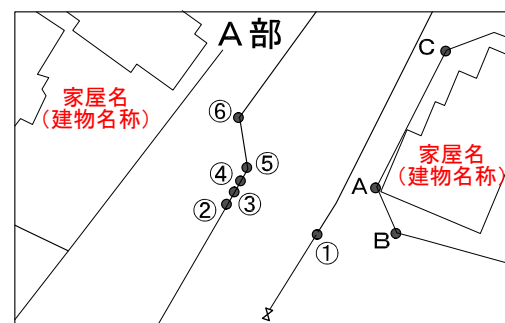
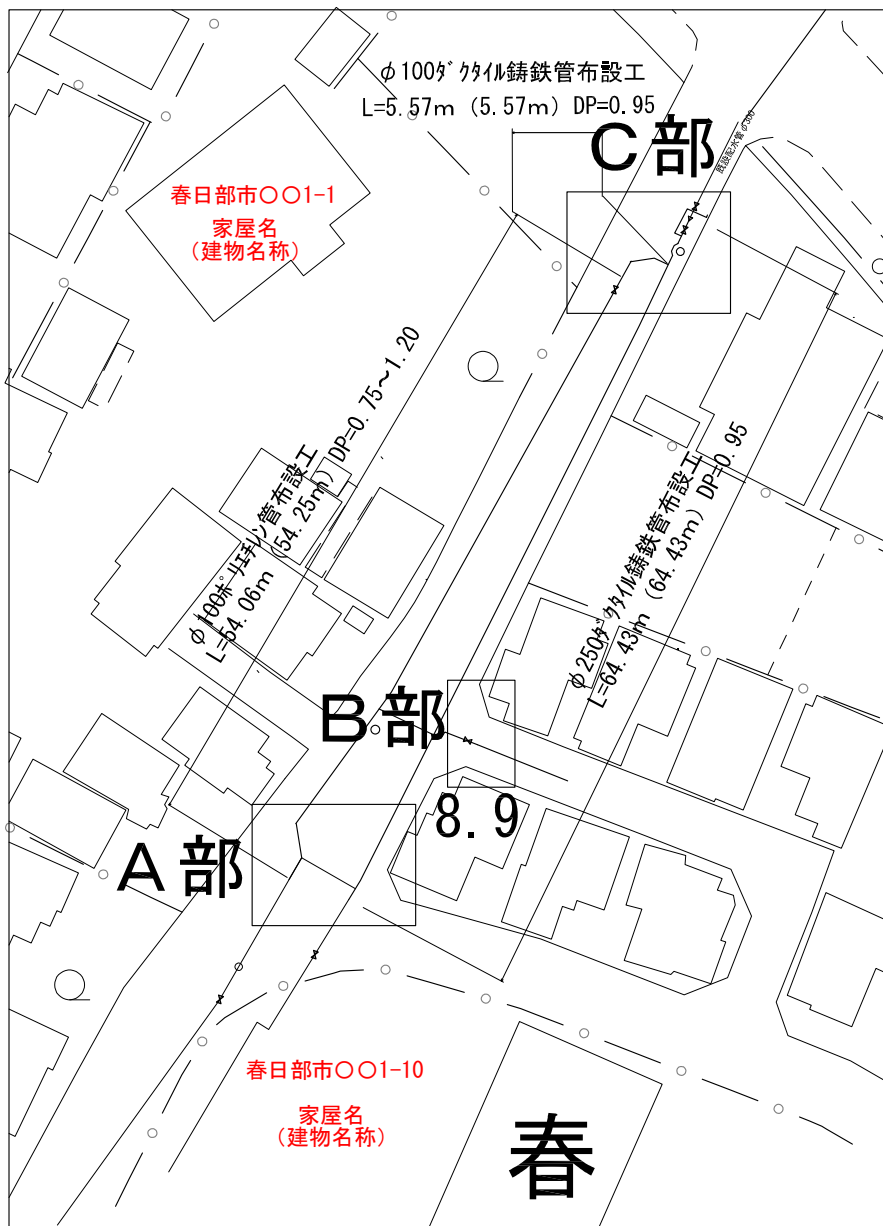
竣工図	図面サイズ	A1
工事名	RO○○○更新工事	
路線名	市道○○○号線外○路線	
工事箇所	春日部市○○地内	
図面名	○○図、○○図、○○図	
縮尺	○/○○	図面番号 ○/○○
竣工年月	西暦○○○○年 ○○月	
施工業者	○○建設株式会社	

参考竣工図面

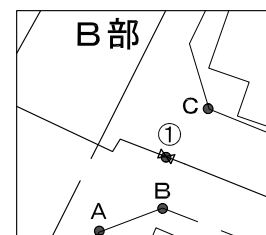
平面図 S=FREE

オフセット図 S=FREE

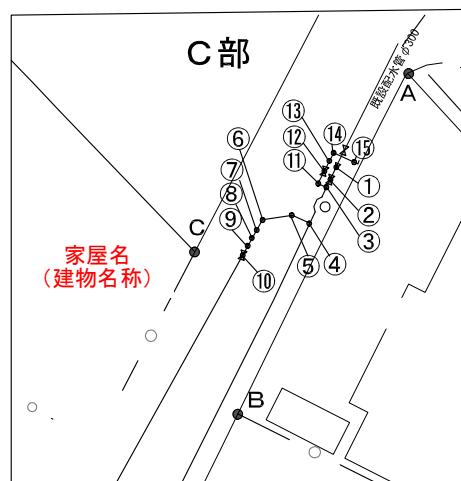
引照点の名称を記載



A部オフセット表				
番号	ポイント	A	B	C
	製品名	ブロック角	ブロック角	境界プレート
①	継ぎ輪 (GX)	5.65	5.30	14.03
②	PVジョイント	8.14	8.93	15.17
③	EF片受バンド45°	7.90	8.77	14.85
④	EF片受バンド45°	7.69	8.63	14.54
⑤	EF両受バンド45°	6.98	8.21	13.46
⑥	EF片受バンド45°	9.08	11.23	11.99



B部オフセット表				
番号	ポイント	A	B	C
	製品名	境界プレート	境界プレート	境界プレート
①	ソトシル仕切弁	3.74	1.61	3.31



C部オフセット表				
番号	ポイント	A	B	C
	製品名	境界プレート	境界杭芯	ブロック角
①	受挿し片落管(K)	8.29	16.31	9.95
②	ソトシル仕切弁	10.09	14.49	8.59
③	二受T字管(GX)	10.61	13.96	8.23
④	二受T字管(GX)	16.02	8.58	6.18
⑤	両受曲管(GX) 45°	16.37	8.98	4.61
⑥	両受曲管(GX) 45°	18.31	8.34	3.52
⑦	PE×GX異種管継手	20.03	7.13	4.54
⑧	EF両挿バンド22°	20.27	6.96	4.74
⑨	EF両挿バンド22°	20.73	6.67	5.11
⑩	ソトシル仕切弁	22.14	5.89	6.34
⑪	曲管 90° (GX)	10.74	14.04	7.79
⑫	ソトシル排泥弁	9.24	15.55	8.97
⑬	PCジョイント	8.15	16.68	9.87
⑭	HI90° エルボ	7.39	17.48	10.54
⑮	HI90° エルボ	7.02	17.33	11.45

竣工図		図面サイズ	A1
工事名	R〇〇〇〇更新工事		
路線名	市道〇-〇号線外〇路線		
工事箇所	春日部市〇〇地内		
図面名	〇〇図、〇〇図、〇〇図		
縮尺	〇/〇〇	図面番号	〇/〇〇
竣工年月	西暦〇〇〇〇年 〇〇月		
施工業者	〇〇建設株式会社		